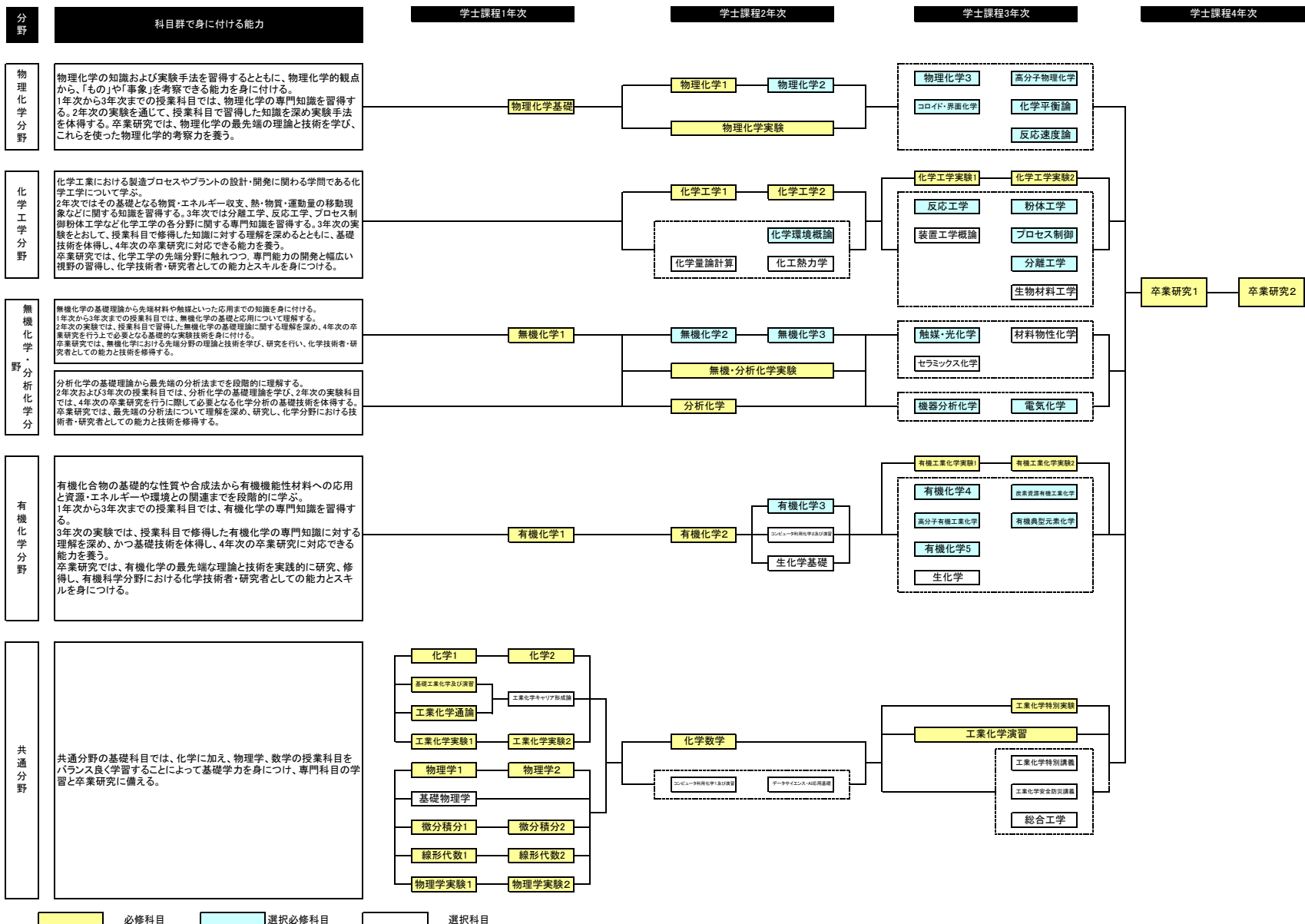


人材育成等に関する目的

工業化学科は、人類に必要な物質やプロセスを創製する為に必要な教養、基礎、専門知識を教授し、将来自らこれらの研究開発ができる能力を育成することを教育目標とする。

カリキュラム・ポリシー

1. 建学の精神「自然・人間・社会これら3者の調和発展のための科学と技術の創造」という教育研究理念に基づいて、学科が定める「人材育成等に関する目的」を実現するための「工学」の教育課程を編成する。
2. 真に能力を身に付けた学生のみを卒業させ「実力主義」の風潮を醸成し、雇用の教育課程を実施する。
3. 段階的な知識の修得を促すため、「一般教養を深めるための『一般教養科目』、工学分野における専門分野の基礎となる『基礎科目』、工業化学分野における研究・技術者等に必要能力を養うための『専門科目』の種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 工業化学分野で活躍するために「プログラミング、図解力、コミュニケーション力、課題発見・解決力、継続的・主体的な学習姿勢、倫理観・職業倫理観」を養成する。
5. 『一般教養科目』では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰する能力、判断力・行動力を養成し授業科目を効果的に活用する。
6. 『基礎科目』においては、共に学び知識の共有を促し、学習態度を高めるための学習を奨励する。
7. 『基礎科目』では、初年次より基礎基礎科目、「専門基礎科目」の授業科目を物理的に配属し、併せて学生が自ら学ぶ学習時間を確保し、基礎学力を強化した上で、『専門科目』との接続を図る。
8. 『専門科目』では、道徳的に、多岐の課題・授業科目を主体的に組み合わせることによって工業化学分野の専門知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学習研究の方法を学ぶ。
9. 学士課程の集大成として、最終年次に卒業研究を実施する。
10. 自身の専門分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるように、他学部・他学科の科目の履修や大学院科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習コースに応える教育課程とする。



  必修科目
   選択必修科目
   選択科目